歳入歳出予算の概要

平成26年度下水道事業特別会計歳入歳出予算の総額は、16億300万円で前年度当初予算16億1,200万円に比べて900万円の減となり、伸率は、0.6％の減となっています。

これは主に汚水枝管整備の建設事業費が減となったことによるものです。

事業費については、公共下水道整備により大きな比重を占める下水道建設費等に対し、引き続き受益者負担金を賦課しつつ、収納率の向上を図り自主財源の確保に努めるとともに、建設費の財源の多くを占める町債については、将来を見通した適正な償還計画に基づいた借入れに努め、下水道事業を推し進めることとしています。

維持管理費については、マンホールポンプ等の維持管理と相模川流域下水道及び平塚市への維持管理負担金等の支出をします。

公債費については、下水道整備の進捗に合わせ、町債の返済に伴う元金償還金が増加しており、受益者負担金の徴収率の向上及び下水道への接続の促進を図り下水道使用料収入の増に努めていますが、それでは賄いきれないため、歳入総額の29％を占める一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況にあります。

歳入の主な内容については、受益者負担金6,437万円（対前年度伸率29.1％減）、下水道使用料１億9,862万円（同3.5％増）で供用開始区域拡大に伴う増です。国庫支出金２億4,700万円（同2.1％増）、一般会計繰入金４億6,971万円（同2.8％増）、下水道事業債5億9,830万円（同1.4％減）となっています。

一方、歳出については、下水道建設費が8億9,314万円で、歳出総額の55.7％（対前年度伸率3.0％減）を占めており、公債費が５億6,236万円（同3.1％増）、維持管理事業を含む総務費が１億4,530万円（同1.4％増）となっています。

最近年度予算額

（単位：千円）

年　　度	歳入歳出予算	平成22年度を100とした指数	対前年度伸率
平成22年度	1,441,000	100.0	0.3 %
平成23年度	1,434,000	99.5	△ 0.5 %
平成24年度	1,648,000	114.4	14.9 %
平成25年度	1,612,000	111.9	△ 2.2 %
平成26年度	1,603,000	111.2	△ 0.6 %

歳入歳出予算　前年度対比表

（歳　入）　　（単位：千円　%）

款　　別	平成26年度		平成25年度		比較増減	対前年度伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1．分担金及び負担金	64,367	4.0	90,764	5.6	△ 26,397	△ 29.1
2．使用料及び手数料	198,620	12.4	191,868	11.9	6,752	3.5
3．国庫支出金	247,000	15.4	242,000	15.0	5,000	2.1
4．県支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5．繰入金	469,707	29.3	456,762	28.3	12,945	2.8
6．繰越金	20,000	1.3	20,000	1.2	0	0.0
7．諸収入	5,005	0.3	4,005	0.2	1,000	25.0
8．町債	598,300	37.3	606,600	37.6	△ 8,300	△ 1.4
歳入合計	1,603,000	100.0	1,612,000	100.0	△ 9,000	△ 0.6

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

（歳　出）　　（単位：千円　%）

款　　別	平成26年度		平成25年度		比較増減	対前年度伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1．総務費	145,304	9.1	143,300	8.9	2,004	1.4
2．事業費	893,139	55.7	920,949	57.1	△ 27,810	△ 3.0
3．災害復旧費	200	0.0	200	0.0	0	0.0
4．公債費	562,356	35.1	545,550	33.9	16,806	3.1
5．諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6．予備費	2,000	0.1	2,000	0.1	0	0.0
歳出合計	1,603,000	100.0	1,612,000	100.0	△ 9,000	△ 0.6

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。